

2016年度第1回「鳥居基金」助成実施報告 (TE-89)

氏名 (所属) : 新谷毅 (大阪市立大学大学院 理学研究科)

助成 : 国内研究集会

集会名 : 日本地球化学若手シンポジウム 2016

期間 : 2016年9月16-18日

本文 :

日本地球化学会「鳥居基金」の助成を受けて、日本地球化学若手シンポジウム 2016 を開催しましたので報告いたします。今年度は大阪府大阪市にある長居ユースホテルと大阪市立自然史博物館にて、9/16~9/18 のスケジュールで行いました。今年は「プレゼン上手になろう」をテーマとして、参加者全員が口頭発表を行い、お互いのプレゼンの良い点・改善点について議論するグループワークを企画しました。当日は大学院生から大学講師まで16名の参加者全員が、積極的に「良いプレゼンとは何か？」について議論を行い、各々のプレゼン能力向上において貴重な経験が得られました。同時に、分野・世代を超えた活発な交流を行うことができました。

招待講演には谷水雅治先生 (関西学院大学) をお招きし、谷水先生ご自身の研究経験を踏まえて若手研究者へ伝えたいことをお話いただきました。先生のお話は、研究に対する姿勢だけでなく、教養の大切さ、留学のすすめなど、経験の少ない若手研究者たちにとって非常に貴重な助言ばかりで、講演後には研究に対する考えが変わったなどの声も聞かれました。また、板井啓明博士 (環境省) にフランスでの研究生活についてお話いただきました。さらに、これまで数々の学会で優秀発表賞を受賞されている岡林識起博士 (東京工業大学) をお招きして、「良いプレゼンテーション」について岡林博士が普段気を付けている点についてご紹介していただきました。最終日には、京都大学原子炉実験所にご協力いただき、原子炉を見学するラボツアーを行いました。ラボツアーでは、始めに原子炉原子炉の仕組みや安全対策などを講義していただいた上で原子炉を見学し、原子炉を用いた研究例も紹介していただきました。今年のシンポジウムは例年に比べて参加者が少なく、盛り上がりには欠けるのではといった不安もありました。しかし、そんな心配は杞憂に終わり、人数が少ない分、参加者同士の交流を深めることができ良かったという感想が多く、充実したシンポジウムとなりました。

シンポジウム開催にあたって、実行委員として運営にご協力してくださった方々、素晴らしい講演を用意してくださった先生方、ラボツアーを企画してくださった京都大学原子炉実験所の皆様、そして当日の参加者の皆様のおかげで、成功裏に終えることができました。また、遠方旅費援助等、参加者の参加費のみで賄うことが難しいことが多々ありましたが、鳥居基金の援助によって無事にすべての準備を調えることができました。皆様のご協力があってシンポジウムを開催できましたことを、この場を借りて厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



集合写真：大阪市立自然史博物館集会室にて

提出日：2016年9月23日